

市議会 6月定例会

7日からは代かき作業が始まり、続いて5月14日から始まった移植作業は5月22日に盛期を迎え、終期は5月末と平年より1週間程度遅くなる見込みです。

これまでのところ、大雪による農作物への大きな影響は発生していませんが、連休明け後の5月10

釈迦トンネルが貫通

日本海沿岸東北自動車道の新直轄区間である大館・小坂間は、平成16年度から本格的な工事に着手しています。この区間の5つのトンネルと6つの橋梁のうち、これまでに3つのトンネル工事と4つの橋梁工事に着手し、商人留から釈迦池にかけては高速道路の一部が姿を現してきています。



貫通式

釈迦トンネル

日には霜注意報、5月11日には低温に関する気象情報が発表されるなど低温が続いたため、農家に対し広報車による注意を喚起してきました。

今後、気象情報に注意し、県を始め関係機関と連携を密にしなから、指導の徹底に努めます。

日本海沿岸東北自動車道

5月17日には、大茂内第一トンネルの安全祈願祭が行われ、5月24日には釈迦トンネルの貫通式が挙行される予定であり、今後も、国と日本道路公団が一体となり、いずれの工事も難工事ではありませんが、世界でも有数の技術力により着々と進められていくものと期待しています。

また、大館西道路の延伸事業は、16年度から、大館南インターチェンジから比内田代線までの区間で、用地買収と改良工事が進められていて、本年度には米代川に架かる新真中大橋の上部工事に着手し、のどかな田園風景の中に、優美で曲線的な姿を現すこととなります。

なお、残る大館能代空港までの区間も「鷹巣・大館道路」として本年度から国の直轄事業で着手することが決定していて、いよいよ全線にわたって高速道路の整備が

本格化することになります。今後も、スピードを緩めること

上半期の発注目標80%

まず、平成17年度の主な事業の公共投資額は、次の通りです。

- ・有浦東台線道路改築事業」が3億円、有浦東台線街路築造事業」が2億2,000万円、農業集落排水事業」が2億4,000万円、「高館公園新設事業」及び「樹海公園新設事業」が合わせて11億円、「公共下水道事業」は5億7,000万円、また、水道事業では「老朽管更新事業」と「矢立地区統合簡水事業」、さらに今年度からの新規事業であり、また「横岩地区水道未普及地域解消



整備が進む東バイパス

なく、早期の全線開通に向けた取り組みを実施していきます。

公共事業の発注計画等

事業」など、合わせて9億2,000万円、病院事業ではいよいよ本格化する「増改築事業」と「医療機器整備事業」、合わせて8億6,000万円となっていて、国や県、民間の各種事業と合わせて、一層の景気浮揚対策、経済振興策として経済効果が期待されることとります。

次に、公共事業の発注計画ですが、地域経済に与える影響が大きいため、年度当初に示した平成17年度予算執行方針の中で、「できる限り早期発注を図ること」と、「適正な予定価格や工期の設定」を指示しています。上半期9月末までの目標値を、昨年度と同様に、80%を上回るように定め、全力を挙げて早期発注に努め、引き続き管内の景気対策に万全を期していきたいと考えています。

そのほかの報告

- ・「秋田看護福祉大学」の開学
- ・城西小学校改築事業の完了
- ・市立総合病院増改築事業に係る工事発注計画
- ・平成16年度決算見込み
- ・各課との政策協議の実施
- ・環境マネジメントシステムの取り組み状況
- ・ごみ分別の変更
- ・矢立ハイツの取得